

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー






南アフリカ



インドネシア


















インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/1 (2/22との比較)	3/1 (2/22との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.94% (+0.05)	84.20円 (▲0.12%)	+1.6% 2018年4Q	1.75%	発表されたCPI（消費者物価指数）はほぼ市場予想通りの結果。米中通商協議の進展期待が高まり、米国で保有資産縮小の年内終了方針が示唆される中、国債利回りは上昇。カナダドルは対円で下落。	貿易収支や雇用統計などが発表予定。政策金利は維持される見通しで、引き続き、原油価格の動向には注意が必要であるものの、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	↗ 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.23% (+0.12)	29.63円 (+0.30%)	+1.1% 2018年4Q	6.50%	政府の年金制度改革法案が注目される中、ボルソナロ大統領の支持率は過半数を超えた模様。GDP（国内総生産）や失業率は市場予想を下回る内容となる中、リアルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	貿易収支やPMI（購買担当者景気指数）などが発表予定。議会で提出された年金制度改革法案の成立や新中銀総裁の動向も注目される中、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を予想。
	Ba2	→ 金利横ばい	↗	↗ 景気回復	→ 据え置き局面		
メキシコ 	A-	8.00% (▲0.09)	5.81円 (+0.46%)	+1.7% 2018年4Q	8.25%	発表された小売売上高や貿易収支は市場予想を下回る内容。大手格付機関が格付け見通しを引き下げ、ロペスオブラドール大統領の支持率が上昇する中、メキシコペソは対円で上昇。国債利回りは低下。	財政収支や消費者信頼感指数、CPIなどが発表予定。国営石油会社をめぐる財政問題や景気低迷が、通貨安と金融引き締めを促す可能性には注意が必要だが、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	A3	→ 金利横ばい	↗	→ 景気安定	↗ 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/1 (2/22との比較)	3/1 (2/22との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
オーストラリア 	AAA	2.15% (+0.06)	79.18円 (+0.35%)	+2.8% 2018年3Q	1.50%	発表された製造業PMIは市場予想を下回る結果。米中通商協議の進展期待が高まり、上海総合指数など中国株が大きく上昇する中、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	GDPや貿易収支、小売売上高などが発表予定。中国では全国人民代表大会が開幕し、政策期待が高まりやすい環境にあることから、債券・為替市場はともに底堅い推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.18% (▲0.00)	76.09円 (+0.36%)	+2.6% 2018年3Q	1.75%	発表された住宅建設許可は前回より良好な結果。一方、貿易収支、企業景況感、消費者信頼感指数は弱めの内容。ただし、市場参加者は様子見となっており、ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは横ばい。	製造業活動量や住宅売上高などが発表予定。米中通商協議や中国の経済政策への期待が高まりやすい環境にあることなどから、債券・為替市場はともに底堅く推移すると予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.75% (+0.09)	13.04円 (+1.43%)	+1.7% 2018年4Q	0.75%	発表された消費者信頼感指数や小売売上高、失業率、製造業PMIは、おおむねまずまずの結果。底堅い経済ファンダメンタルズなどを背景としてノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは上昇。	経常収支や鉱工業生産、GDPなどが発表予定で、比較的堅調な内容が示されると想定。米中通商協議や中国の経済政策への期待が高まりやすい環境にあることもあり、債券・為替市場はともに底堅く推移すると予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/1 (2/22との比較)	3/1 (2/22との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BB+	7.85% (+0.06)	7.87円 (▲0.53%)	+1.1% 2018年3Q	6.75%	発表されたPPI（生産者物価指数）は市場予想を下回る一方、貿易収支は市場予想を上回る内容。政府は、英国との暫定的な新貿易協定の調印が近いと公表がある中、国債利回りは上昇。ランドは対円で下落。	GDPや経常収支などが発表予定。相対的に景況感に強さが見られない状況下、米中通商協議や中国の経済政策への期待が高まりやすい環境にあることもあり、債券・為替市場ともにレンジ内での推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.51% (▲0.23)	0.79円 (▲0.10%)	+5.2% 2018年4Q	6.00%	発表された製造業PMIは好況・不況の分岐点とされる50ポイントを上回る内容。一方で、CPIは予想を下回る結果となる中、ルピアは対円で下落。国債利回りは低下。	消費者信頼感指数や外貨準備高などが発表予定となっているものの、市場への影響は限定的と見込む。引き続き、投資家のインドネシア国債の需要度合いなどが注目され、為替市場は概ねレンジ内で推移する見込み。
	Baa2	 金利横ばい		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	7.05% (▲0.01)	1.58円 (+1.41%)	+6.6% 2018年4Q	6.25%	発表されたGDPは僅かに市場予想を下回る一方で、製造業PMIは前月より改善。総選挙を控えていることやパキスタンとの紛争などにより、市場参加者は様子見となる中、インドルピーは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	国際収支や経常収支などが発表予定。引き続き、中銀の緩和的姿勢への転換や財政拡張的な予算案などは、目先の成長を押し上げるものの、為替市場の不安定化にもつながる可能性があり、上値の重い展開を想定。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

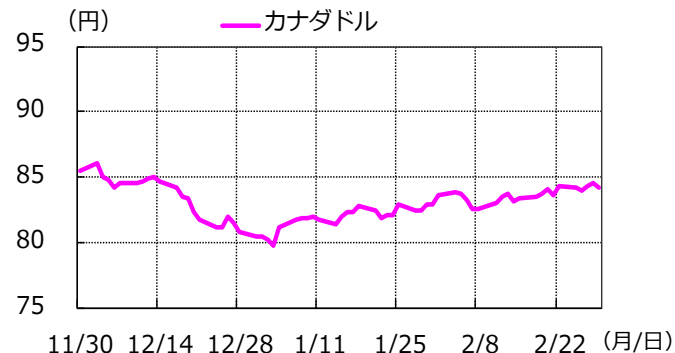
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

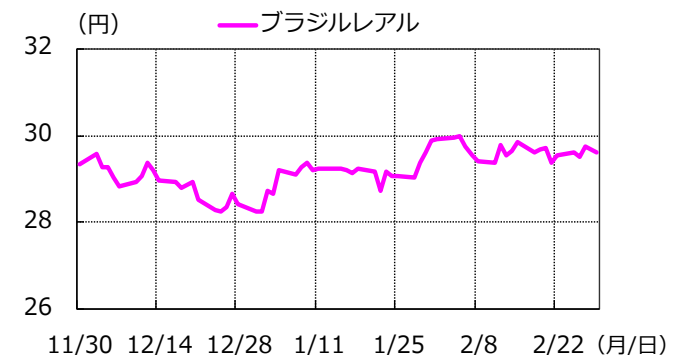
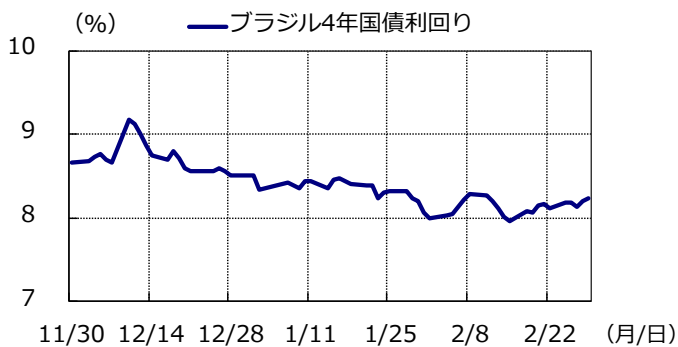
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/11/30～2019/3/1

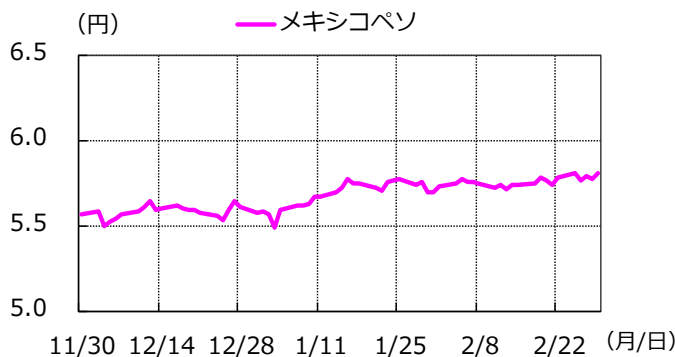
カナダ



ブラジル



メキシコ

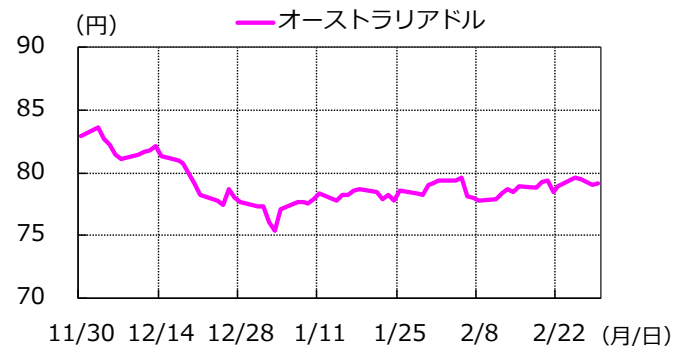


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

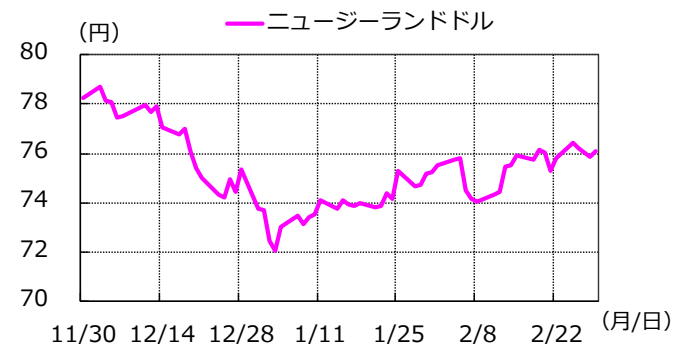
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/11/30～2019/3/1

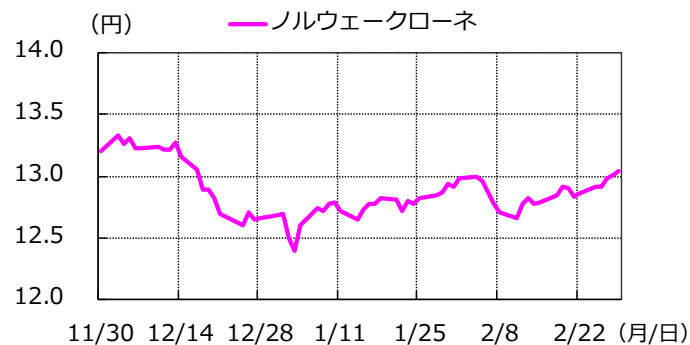
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

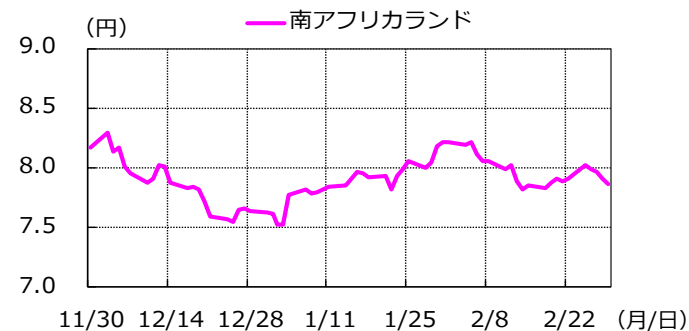


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

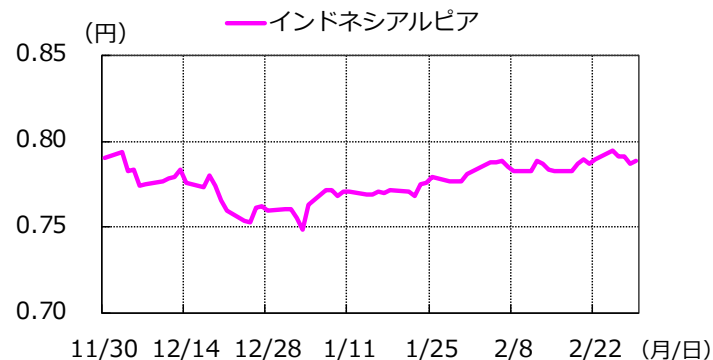
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/11/30～2019/3/1

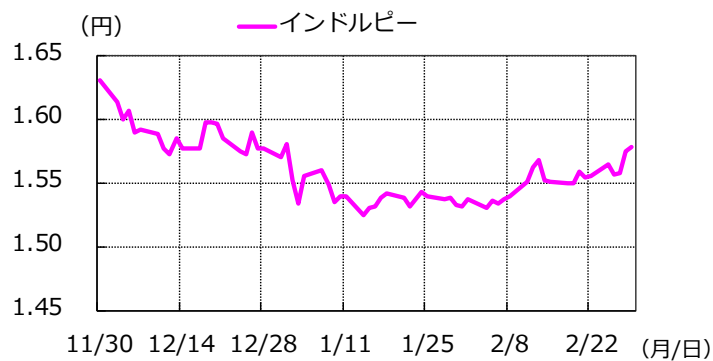
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。